

日本私立学校振興・共済事業団著「少子化時代の私学経営」を読む

- 直面するリスクを乗り越えるために -

近年、社会人の生涯教育やリカレント教育の必要性が叫ばれ、大いに期待されてきたが、社会人入試は、実施大学・学部とも増加しているものの、入学者数は五年連続で減少し、実質的には縮小傾向にある。大学の利用者を拡大させるという観点から見ると、二〇〇七年に退職する団塊の世代をどう大学に取り組むかは、私立大学にとって大きな課題である。大量の退職者に魅力的なカリキュラムを作れるかどうかの問題である。学内にプロジェクトを作って、取り組むべき大切な課題ではないだろうか。これは、国あるいは社会全体として私立大学等の教育インフラをどう有効に利用するか考える良い機会だと思われる。

P.135

日本私立学校振興・共済事業団著「少子化時代の私学経営」

日本私立学校振興・共済事業団、私学経営相談センター 2006年3月31日刊

- 2006年10月5日記 -